広報しうら

編集と発行
青森県市浦村役場
総務課
電話 相内1・44番

村の人口
(12月31日現在)

世帯数		1・083
総人口	男	5・237
	女	2・576
		2・661

衆議院議員総選挙結果

投票率82%の好成績

有権者の関心高まる

一月廿二十九日に行なわれた衆議院議員総選挙は、前日までの好天もくずれ、風雪に見舞われた悪天候でしたが、各地区とも選挙に対する有権者の関心がたかまったのと、相内青年団の棄権防止運動が効を奏し前回の七六・七%の投票率を五・三%上回る八二・〇%の好成績でした。

二月廿二十六日は県知事選挙が行なわれますが、投票日にはみんなが誘い合って一人の棄権者もないよう、村の選挙管理委員ではのぞんでおります。

なお、衆議院議員総選挙の市浦村における結果は次のとおりです。

▽当日の有権者数：男、一一、四〇二人、女、一一、二二人、計、二、九五五人。

▽投票者数：男、一、一九七人、女、一、二二人、計二、四一五人。

▽棄権者数：男、二〇五人、女、三二七人、計五三二人。

▽投票率：八二・〇一%

▽有効投票数：二、四〇二票。

▽各候補者得票数

二三票　西谷　末七

五〇票　島口重次郎

一五五票　楠美　省吾

四六六票　花田　一

八四一票　竹内　黎一

三四〇票　田沢　吉郎

二七票　松山　治郎

希望に満ちた成人の日

六十六人が大人の仲間入り

去る一月十五日は「成人の日」でしたが、市浦村では権利と責務があたえられ、六十六人（男三十人、女三十六人）が大人の仲間入りをしました。

式は勝元公民館で開かれましたがこの日は折り悪しく猛ぶきに見舞われ唯一の交通機関であるバスが完全にストップしたため、参会者の出足がにぶり定刻のくばがあったあと、成人を代表して伊南敏君（畿松）が変更し、四十三人を集めて開きました。

先ず、三和教育長から「成人とは社会人として重大な権利と責務があたえられた年前十時開会を午後一時にしたいままでと違い、今後は深い思慮と努力の積み上げが必要である」と式辞がのべられ、続いて柏谷村長、佐藤相中校長、吉田十三公民館長からお祝いのことばがあったあと、成人代表の出足がにぶり定刻の変更し、四十三人を集めて開きました。

パーティは、相内中学校安田先生の指導により、スクエアダンスなども行なわれ、集まった成人たちは、終始なごやかな一日を過しました。

なお、終つてから「成人と選挙について」の二つのテーマで座談会を開き、活発な意見がかわされましたが、「成人と選挙について」は直接関係があるため、山田総務課長の説明に対し、熱心に耳を傾けていました。

成人とは社会人として重大な権利と責務があたえられ、両親や家族の保護下にあつたいままでと違い、今後は必要である」と式辞がのべられ、続いて柏谷村長、佐藤相中校長、吉田十三公民館長からお祝いのことばがあったあと、成人代表の出足がにぶり定刻の変更し、四十三人を集めて開きました。

パーティは、相内中学校

国保の資格得喪届は早目に

現在、皆さんに交付している国民健康保険被保険者証（緑色、昭和四十一年一月検認印のあるもの）は、ことしの三月三十一日まで使用できますが、それ以後は無効となりますので、三月中に全部更新することになりました。

したがって、現在交付されている被保険者証のなかで異動のある世帯は、二月二十八日までに印鑑、被保険者証を持参の上、役場あるいは各出張所において下さい。

なお、異動の事由は次のとおりです。

△資格取得関係（国保に加入できない人）

①転出したとき

②社会保険に入ったとき

③生活保護が廃止になったとき

④出生したとき

⑤その他

△資格喪失関係（国保に加入しなければならない人）

①転入して来たとき

②社会保険をやめたとき

③生活保護を受けるようになったとき

④死亡したとき

⑤その他

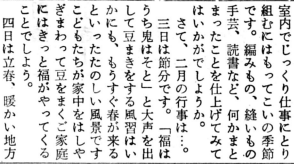
お手もとにある被保険者証をいま一度ごらん下さい

相内保育所は四月一日開設

児童福祉の向上をはかるため、昨年七月着工した相内保育所は、十一月末完成しましたが、工費は七百五十一万二千円（うち屋内設備費四十九万一千円）を要しました。

床面積は四百七十一平方尺（百四十三坪）の平屋建てモルタル仕上げのスマートなもので、九十人の児童を収容できます。

正式に開設されるのは、県から認可がおりる四月一日ですが、三月までの二カ月間は従前どおりへき地保育所として四十五人の児童を収容することになっております。



火の用心

季節のしおり

暦の上に春は来ても、まだまだきびしい寒さが続きます。一年中追いまわされている主婦の方も、暖かい室内でじっくり仕事にとり組むにはもってこいの季節です。編みもの、縫いもの手芸、読書など、何かまとまったことを仕上げてみてはいかがでしょうか。

三月の行事は…。

三日は節分です。「福はうち鬼はそと」と大声を出して豆まきをする風習はいかにも、もうすぐ春が来るといったたのしい風景ですこどもたちが家中をはしやぎまわって豆をまくご家庭にはきっと福がやってくることでしょう。

四日は立春、暖かい地方ではそろそろ梅の花が見られます。

八日は旧正月の年越。九日は旧正月の元日と続きます。新生活運動かはじまってから相当の年数もたち、出ておりますが、まあ、とにかく派手な旧正月はやめてほしいものです。

十一日は「建国記念日」ことしから新たに国民の祝日となって制定され、これで祝日が十二日に増えたわけです。

十四日は、バレンタインデー。この日ばかりは、お室内でじっくり仕事にとり組むにはもってこいの季節です。編みもの、縫いもの手芸、読書など、何かまとまったことを仕上げてみてはいかがでしょうか。

十九日は雨水。雨水とは旧正月のなかばのことで、わたしたちの地方では、まだ寒さもきびしいが、南の方ではつばきの花が咲きはじめ、ふきのとう川やなぎの芽が出はじめます。

二十八日から春の火災予防運動がはじまります。空気が乾ききっています。火の元には十分注意をいたしましょう。

成人の日に寄せて

忠実をつらぬき、社会の幸福を考えよ

市浦村教育長　三和房美

六十六名の皆さん方が成人式を迎えることが出来ましたことを衷心からおよろこび申し上げます。

さて、ある本に甲谷良彦という方が「若い人たちへ私の願い」ということが書かれていました。

いま、私がそのことの要点を申し上げ、本日成人式を迎えられた皆さんへはなむけのことばといたします。

現在の若い人たちの人生設計を聞いて見ますと、「よい会社等に入りよく配偶者を得、やがて気ぐみた家を建てる」ことであると答えられるようです。ことのほとんどが「人生設計」の設計図が個人にはじまって個人に終っている点は感心できません。

私たちは多くの人々によって構成されている社会の中に住んでいることを忘れてはいけないのです。

この社会のおかげで私たちの今日があるのではないでしょうか。私たちが今日受けている幸せは個人の努力による面もたしかにありますが、社会による面がはるかに多いことを忘れてはならないのです。

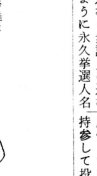
また、学問もなく智恵だけはあるつもりでいたあたり前だ しなアと。

「一体何が俺にあるか（たつた一つ忠実ならばある）忠実だけは自分の心掛け一つで出来る何事も何事にも成り切ることだ、あたえられた仕事を天職と思つて一生懸命会に住む資格がないといわれても仕方がないのです。

私たちは「個人の幸福を考えると同時に社会の幸福を考えるように努力しなければならない」ということであります。

また、ある著者の大隅記による面白さ、豊臣秀吉が日吉丸といわれた頃にある日、次のことがあります。

「一体何が俺にあるか（たつた一つ忠実ならばある）忠実だけは自分の心掛け一つで出来る何事も何事にも成り切ることだ、あたえられた仕事を天職と思つて一生懸命やることだ」と、豊臣秀吉は、草履取りのときは草履取りに一生懸命、清州の城で台所役のときは台所役として努力したし、また、その他の職務についても天職と心がけ忠実に努力したことによつて天下をとるようになつたと思います。



成人の式を迎えられた皆さんの生活はその地域または、家業や職役によつて千差万別でありましょう。職業を天職と思つた忠実に実行していただきたいと思います。皆さんは一人前の大人として社会人として、また、また、また

ふぶきも寒さもなんのその

游先生を訪ねて

市浦は景色のよいところ

胃腸疾患　高血圧症　が多いのにびっくり

々医は仁々愛は国境をこえて――。長いこと無医地区になっていた相内診療所に、はるばる南の国台湾から、游紹陳先生が赴任してきたのは、暮も押しせまった十二月二十二日でした。以来、すでに四十日の月日が過ぎ去りましたが、游先生はすっかり市浦村の空気とにこみ六十九年来の大雪も、連日の猛ふぶきもなんのその、元気で診療にあたっています。以下は游先生訪問の記――。

△**市浦村の第一印象について**…地図で見たときは、海に面しているので、潮風の吹きすさぶ寒村ではないかと思っていました。しかし、来て見て景色のよいのに思いました。中半袖のシャツで過ごせるあたたかさです。果物はバナナ、パインナップルもちろんですが、日本の名産として知られるミカンもたくさん栽培されており、いまではいろいろな品種の更新に力を入れていますので大変おいしいミカンが食べられます。

△**台湾の最も多い病気と日本の成人病について**…台湾の最も多い病気はマラリヤですが、これは風土病であるため、国の衛生策の重点事項としてとりあげ、根治に力を入れています。日本の成人病については、話には聞いていましたが、市浦村で診療にあたって高血圧症の多いのには驚きました。次は胃腸病で癌前症状のものも時たま見かけることがあります。また、神経痛も非常に多いのにびっくりしました。これらの病気はこの地方の風土につながるものと思いますが、白米食を減ずるとか、おモチをあまり食べないとか、食べ方の改善をする程度防せげるのではないでしょうか。幸いわたくしは、満州で雪と寒さを経験ずみですので食生活等が規制されなければムダだと思います。

△**台湾の医療行政について**…台湾における医療行政は、ただツッコツとねばり強く地域住民の保健衛生向上のためがんばりたいと思っております。どうぞよろ

△**趣味と嗜好について**…これといった趣味はありませんが、強いて申し上げれば園芸ということになります。ただし、園芸といっても花や庭木をいじる事ではなく、造林とか果樹（ミカン）を栽培することでスケールが違います。

嗜好品については、お酒を二合くらい召し上りますが、日本酒は甘くて口に合いません。焼酎がいいのではないかという人もありますが、まだ、試飲していません。タバコは食後のいっぷくということで一日二本ないし三本です。それも軽くふかす程度です。

△**食べ物**…体重も大分増えました。お除さまで顔の色つやも良くなり、健康そのものです。

△**今後の抱負について**…市浦村のご飯は大変おいしく、なんとかしなければ。

△**三十歳から六十才まで**…月百五十円。

△**六十才から七十才まで**…月百円

△**二十才から三十五才まで**…月二百円

△**三十五才から六十才まで**…月二百五十円

△**七十才から**…月三百円

△**老令年金**＝いままでは二十五年間保険料を納めたときは、年二万四千円でしたが、一月から年六万円支給されることになりました。また、四十年間納めたときは、四万二千円から九万六千円に引き上げになり、二倍半の増額となっています。

△**障害年金**＝いままでは最低保障で二万四千円、一級障害で三万円でしたが、六万円に改正になったほか、一級障害のときは、七万二千円支給されることになりました。

△**母子、寡母子年金**＝いままでの母一人子一人で一万九千二百円が五万五千二百円に引き上げられ、二人目の子から四千八百円加算されます。

△**遺児年金**＝一年以上保険料を納めていた父母が亡くなったため、十八才未満の子供が孤児になったときは、いままで一万二千円支給されていましたが、これが、二人目から四千八百円加算されます。

△**寡婦年金**＝十年以上結婚していた妻が、老令年金を受けられる夫に亡くなられたとき、六十才から六十五才まで支給になります。年金額は、老令年金の年金額の算定方法により計算した額の半額に相当する額とされております。

なお、今回の保険料の引き上げにより、一月分以降の保険料を前納している人は、前に納めた保険料と新しく保険料の差額を納めなければなりません。

国民年金

保険料は一月から百円値上げ

給付額は二倍半以上引き上げ

国民年金の保険料は、昭和三十六年四月から徴収がはじめられていましたが、

△二十才から三十五才まで、月百円

△三十才から六十才までは、月百五十円

でしたが、一月から老令年金や障害年金などの年金額が、大巾に引き上げられることになりましたので、保険料の額も当然引き上げることが必要となり、一月分の保険料から、

▽**二十才から三十五才まで**、月二百円

▽**三十五才から六十才まで**、月二百五十円

▽**七十才から**、月三百円

と、それぞれ従来の額から百円ずつ引き上げられました。

なお、老令年金は、一月分以降の保険料を納められた人は、前に納めた保険料と新しく保険料の差額を納めなければなりません。

春を呼ぶシジミ貝取り

○……春立つといえど、寒い日が多い月。しかし、二月はまだまだ厳しい寒風の中で、いま春を呼ぶシジミ貝の採取が行なわれている。

○……胴長グツで身をかためてはいるものの、腰までつかる水はつめたく、漁師たちもさすがに寒さをかくしきれない表情。

○……午後になると、橋にはエンジンの音を高くひびかせながら、シジミ貝を満載した船が帰つくる。三・七五キロあたり三十五円前後で漁協に引き取られ、県内はもちろん、函館あたりまで出荷される。

○……朝もやを破って「十三湖のシジミ貝、シジミ貝はいかが」とふれあるくシジミ貝売りの声が聞かれるのも間近いことだろう。

蜆汁ぬくめて
遅き朝餉かな　青朴

相小給食室できあがる

相内小学校給食施設工事は、昨年七月から予算三百万円で着工し、十一月末完成しましたが、給食室は八十二平方メートルモルタル仕上げで、建築費に百五十万円内部設備費に百三十五万円その他に十五万円を要しました。

給食対象児童は四百名で昨年十二月からはじめております。

なお、相内小学校に給食施設が完備されたことにより、村内小学校の全部に給食施設ができました。

戸籍の窓口

出生

（一月届け出分）

山田節子（桂川）光雄
相沢孝一（磯松）繁一
奈良久美子（太田）高雄
葛西新子（脇元）悌一
黒川克史（脇元）進
和鳴陽子（磯松）賢治
小寺隆（脇元）行充
奈良春美子（太田）哲也
中村勝彦（脇元）清司
三上民子（五所川原）進司
松江俊行（十三）藤行
三橋嘉津浩（十三）嘉津義
相川章子（十三）惣作
伊南和春（磯松）政幸
浜田勝（十三）幸司
藤田仁（磯松）三男

婚姻

伊南裕雄（磯松）
岩谷千鶴子（黒石）
水島徳司（茅ヶ崎）
本荘倭（十三）
栗田芳子（秩父）
田中正（桂川）
大沢小吉（十三）
富坂忠治（磯松）
成田江子（五所川原）
大鳴芳明（東京）
鈴木節子（十三）

死亡

成田岩次郎（磯松）
野村淳雅（蟹田）
成田勘之丞（相内）
佐藤正之助（相内）
佐藤稔（相内）
小浜武四郎（相内）
三和忠助（相内）
猿賀鷹太郎（相内）
川上勝人（磯松）
会津マサ子（板柳）
高松正昭（十三）
岩田零子（広島）
中井貴子（十三）
佐藤紀子（木造）
太田鶴子（板柳）
佐藤尚子（相内）
三浦勝治（相内）
畑洋子（相内）
長内武造（鶴田）
猿賀智子（相内）
斎藤文明（木造）
本田常紀子（十三）
若山国司（十三）
藤本紀子（十三）
中谷幸久（川倉）
仲田実（茨城）
青山栄美子（太田）
石沢慶一（十三）
秋田谷栄子（相内）
奈良忠彦（太田）
飯田イチ子（黒石）
奈良賢蔵（十三）
葛西タエ子（脇元）
山内守栄（相内）
笠井いつ（稲垣）
石沢慶一（十三）
横尾宣行（長野）
竹内蔵子（十三）

51 73 42 68 69 71 69 78 78

健康メモ

△**ビタミンD**＝骨の発育に欠かせません。室内にこもりがちな冬雪国で日光に当ることの少ないこの地方では、とくにD欠乏になりがちです。これをふせぐには、レバー、牛乳卵、魚のひ物、しいたけなどをできるだけたくさん食べるようにすることです。

△**ビタミンC**＝生野菜のいちばん少ないのが二月です。そのためビタミンCを食べることが、いちばんいいわけです。極端な場合は、壊血病になったりします。かぜをひきやすくなったりするのも、C不足が一因となっているということです。その子防としてできるだけ生野菜を食べるくふうをすることです。

△**ビタミンB**＝米食の人の主食物ではビタミンCの宝庫でしょう。

△**ビタミンB₁**＝寒いと量が多くなります。その結果、じん臓の負担が多くなります。

△**ビタミンB₂**＝寒さと、食品について

ちな日本人の食生活ではとくにその傾向が強いと思います。その子防に豆類ならなんでも食べることです。とくに落花生は最高です。一日に十粒も食べればよいとさえいわれています。

△**おとなの食事で気をつけたいこと**＝寒いと運動不足になりがちで汗をかくことも少なく、体内の塩分の要求もそれに従って少なくてすみます。ところが、体があたたまるからといって、なべものがよろこばれますが、汁もものはとかく塩分の総量が多くなります。

その結果、じん臓の負担を重くし、血圧があがったりします。

したがってなべ物はできるだけうす味をおすすめします。また、ふとりぎみの人、高血圧の方あるいは、心臓の悪い人は気味の人、高血圧の方あるいは、心臓の悪い人は油類をとりすぎないようにしてください。

◇……◇……◇